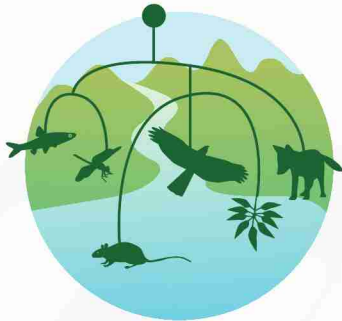




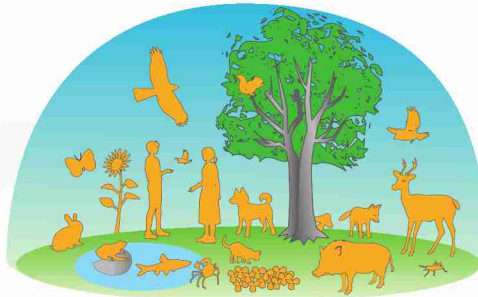
せいぶつたようせい 生物多様性??

「生物多様性」とは、生き物たちの豊かな個性とつながりのことです。地球上の生き物は40億年という長い年月をかけて、さまざまな環境に適応して進化し、3,000万種ともいわれる多様な生き物が生まれました。これらの生命はひとつひとつに個性があり、直接的に、または間接的に支えあって生きています。例えば、私たちの暮らしは、野菜、米、魚などの食料、新聞や本などの紙製品、植物が生み出す酸素など、多様な生き物が関わりあう生態系からの恵みによって支えられています。



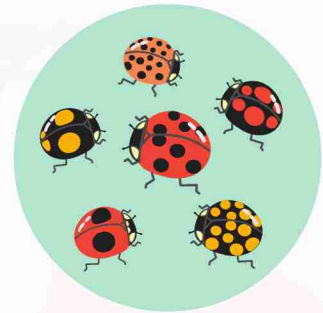
せいいたいけい たようせい
生態系の多様性

しんりん やつだ かわ うみ
森林、谷津田、川、海などいろいろなタイプの自然があります。



しゅ たようせい
種の多様性

どうしよくぶつ さいきん びせいぶつ
動植物から細菌などの微生物にいたるまで、いろいろな生き物がいます。



いでんし たようせい
遺伝子の多様性

おな しゅ こと いでんし ち
同じ種でも異なる遺伝子を持つことにより、多様な個性があります。

ちばし やつだ 千葉市の谷津田

きゅうりょうち しんしよく けいせい たにじょう ちけい やつ ちほう やと やち よ やつ
丘陵地が浸食されて形成された谷状の地形を「谷津（地方によって、谷戸や谷地）」と呼びます。谷津
ていぶ しっち ほうふ ゆうすい りよう みる いなさく おこな
底部の湿地では、豊富な湧水を利用して古くから稲作が行われてきました。こうした谷津につられた田
んぼは「谷津田」と呼ばれています。

やつだ と ま かんきょう ぞうきばやし じゅりんかんきょう あげ きゅうこうち くさちかんきょう た おがわ
谷津田を取り巻く環境には、雑木林のような樹林環境、畦や休耕地などの草地環境、田んぼや小川、
わ みず いけ みずべかんきょう たよう かんきょう ふか かか い もの
湧き水、ため池といった水辺環境などがあり、これら多様な環境がそれぞれ深く関わりあって生き物の
せいそくかんきょう つく
生息環境を作っています。

しな い おおくさ やつだ さと だいりょう やつだ てんざい し げんふうけい たよう
市内には、「大草谷津田いきものの里」に代表される谷津田が点在しており、市の原風景であり多様な
せいいたいけい ゆう やつだ しげん じせだい まち つた ちいき かたがた ほぜん と
生態系を有する谷津田の自然を次世代に守り伝えていくために、地域やボランティアの方々と保全に取
り組んでいます。谷津田は、ホタルやトンボ、カエルなど身近な野生生物の貴重な生息空間として機能
しているだけでなく、ちいきぶんか でんしょう ひと ひと じゅうりょう やくわり は
地域文化の伝承など人と人とのつながりにも重要な役割を果たしています。



おおくさ やつだ さと
大草谷津田いきものの里



たう
田植えのようす



もっと知ろう!

とくていがいらいせいぶつ 特定外来生物

市内には、昔から多くの生き物がすんでおり、これらは「在来種」と呼ばれます。一方、これまで市内では見られなかったものの、人の活動に伴い外から入ってきた生き物を「外来種」と呼びます。

生態系への影響としては、もともとその場所で生活していた在来種との間で餌やすみかを奪い合うなど競争が起こり、在来種がいなくなってしまうなど大きな影響を及ぼす場合があります。

外来種の中でも、生態系、人の生命・身体、農林水産業へ特に大きな影響・被害を及ぼすもの、又は及ぼすおそれがあるものは外来生物法によって「特定外来生物」に指定されています。

市内では、アライグマ (p.17)、セアカゴケグモ、カミツキガメ、カダヤシ、オオクチバス、ブルーギル、ナガエツルノゲイトウ、オオキンケイギク (p.9) などが確認されています。

なお、特定外来生物は生きている個体の移動・飼育・栽培等が原則禁止されているため、個人で駆除する場合は、関係法令に留意して適切に行いましょう。

＜外来生物法で規制されている事項＞



オオクチバスやブルーギル



ナガエツルノゲイトウ